

VEGF-VEGF受容体シグナル系 と腫瘍血管新生

澁谷 正史 先生

学校法人学文館 上武大学 学長

医学生理学研究所 所長

日 付：平成28年12月13日（火）

時 間：午後17:00～18:00

場 所：がん進展制御研究所 4階会議室

がんの増殖・転移に血管系が重要であることは以前より示唆されていたが、25年ほど前までは分子レベルの血管調節機構はほとんど不明であった。1989年にVEGF-Aの遺伝子が単離され、1990年に我々が新規受容体キナーゼ遺伝子Flt-1を報告し、Flt-1が最初のVEGF受容体であることが示された。その後、VEGF,VEGFRファミリーが血管・リンパ管新生の基本的な調節機構であることが明らかとなった。今回のセミナーでは、VEGF-VEGFRシグナルが腫瘍血管や腹水貯留に中心的な役割を果たすこと、VEGF系シグナルの特徴と、血管新生阻害薬の開発、残された問題点などをお話したい。

皆様奮ってご参加ください。